

広島県知事 殿

所在地 広島県安芸高田市吉田町吉田 791  
団体名 安芸高田市  
市長 石丸伸二

平成 30 年度～令和 2 年度鳥獣被害防止総合対策交付金(鳥獣被害防止総合支援事業,  
鳥獣被害防止緊急捕獲活動)に関する改善計画について

平成 30 年度～令和 2 年度において鳥獣被害防止総合対策交付金で実施した施設等について、当初事業実施計画の目的の達成が図られるよう、下記の改善計画を実施することとするので、報告します。

## 記

### 1 事業の導入及び取組の経過

本市において、イノシシ、シカによる農作物被害は甚大であり、令和 2 年度の事業において、箱わな捕獲器 31 台を導入した。

### 2 当初事業実施計画の目標が未達成である原因及び問題点

さまざまな対策を講じているが、実需者である農業者の高齢化に伴い、鳥獣防護柵などの管理が困難となっている地域が出ている。

また、野生鳥獣の生息範囲が拡大され、従来生息していない地域へ出没したことがあげられる。

### 3 実績及び改善計画

(改善計画は、下記の様式により作成すること。なお、要領に定める事業実施状況報告書の写しを添付すること。)

(様式) 被害防止計画の達成状況に係る部分

区分	指標	対象鳥獣	被害防止計画の達成状況					達成率 (%)	備考
			目標 (R2年)	基準年度の実績 (H28年)	1年目 (H30年)	2年目 (R1年)	3年目 (R2年)		
被害防止計画 (被害の軽減目標)	被害金額 (千円)	イノシシ	8,778	10,972	20,115	25,367	36,782	-1,176%	
	被害面積 (ha)	イノシシ	8.8	11.0	21.2	35.0	38.6	-1,255%	

(注) 1 指標は、被害防止計画と整合をとること。

2 被害防止計画の達成状況のうち、「目標」、「基準年度の実績」は被害防止計画から転記し、それ以外は被害防止計画に基づく取組実績を記載すること。

3 各指標ごとの合計も記載すること。

4 被害防止計画を見直し、目標の変更を行った場合は、備考欄に新たな目標を記載すること。

(様式) 施設の利用計画に係る部分

区分	指標	事業実施後の状況					改善計画			
		目標 (年)	計画策定時 (年)	1年目 (年)	2年目 (年)	3年目 (年)	改善計画策定 (年)	1年目 (年)	2年目 (年)	3年目 (年)
	利用量 (km、ha等)									
	利用率 (%)									
	収支差 (千円)									
	収支率 (%)									
	累積赤字 (千円)									

(注) 1 利用率は、当該年度の数字を目標年度の数字で除して求める。

2 収支率は、収入/支出×100とする

3 目標年が4年以上の取組等、必要に応じて、適宜欄を追加して記入すること。

4 協議会の構成員が申請する場合は、参画協議会名も記載すること。

5 区分の欄は、鳥獣被害防止施設、食肉利用等施設、捕獲技術高度化施設等と記載すること。

#### 4 改善方策

(要領に定める事業評価報告書の事業効果及び評価の欄を参照し、問題点の解決のために必要な方策を、事業内容の見直しを含め具体的に記述すること。)

被害額及び被害面積の高止まりとなっているイノシシ対策については、鳥獣被害防護柵の整備の推進をしていく。

既に整備した鳥獣被害防護柵の集落点検や、集落や農地に有害鳥獣を寄せ付けない等の啓発活動を実施していく。鳥獣被害対策を推進するため、現地で防護柵の設置指導を行う。

捕獲班及び鳥獣被害実施隊によって、捕獲による個体の適正管理を図り被害の低減に努める。

#### 5 改善計画を実施するための推進体制

安芸高田市有害鳥獣捕獲対策協議会に参画する関係機関と連携を密にし、総合的な対策を実施し農作物の鳥獣被害の低減に努める。